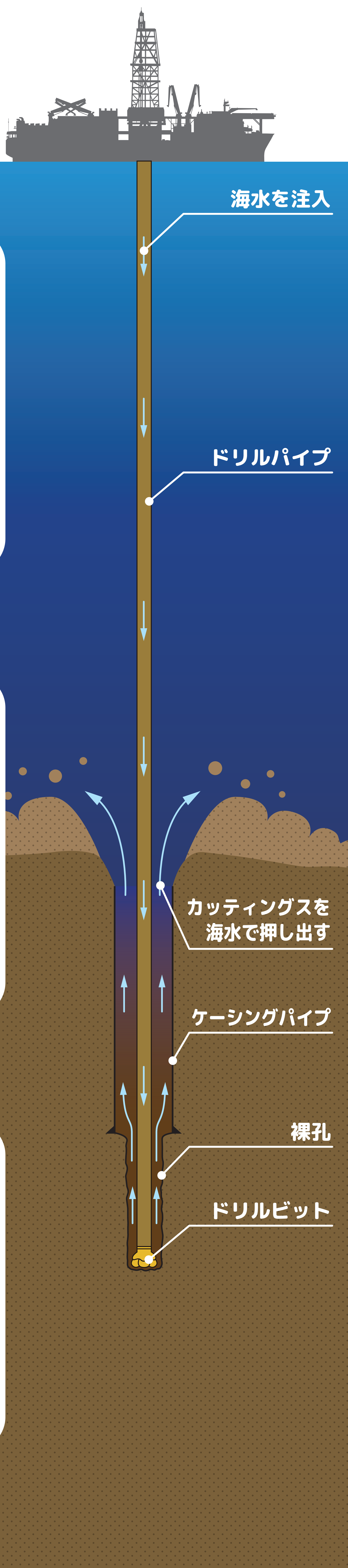
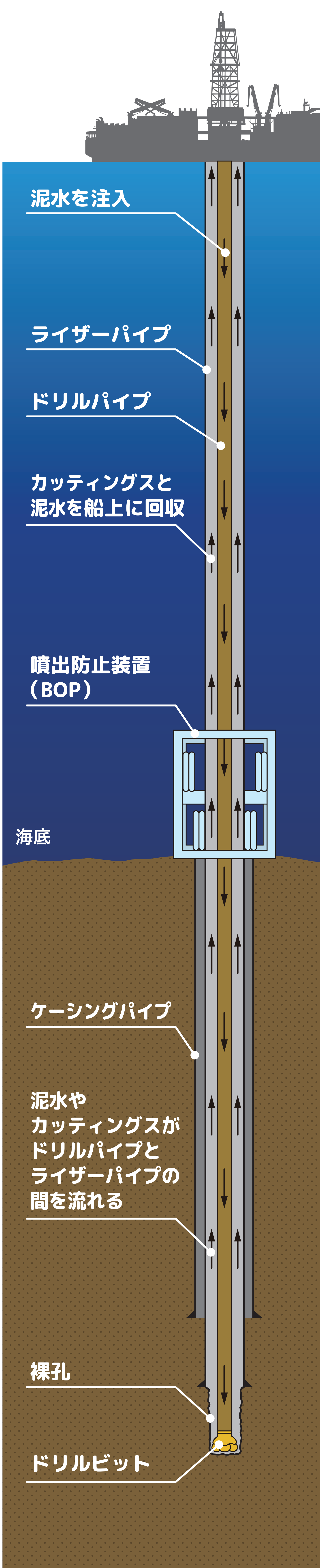


ライザー掘削とライザーレス掘削のちがい

ライザー掘削

ライザーレス掘削



ちがい① 掘削可能な深度

ライザー掘削 大深度掘削に適する。泥水を使用することにより、掘削孔を壊さずにより深いところまで掘削可能。時間とコストはかかるが確実に掘り進むことができる。

ライザーレス掘削 浅層部分の掘削に適する。短い期間で多くの場所を掘削できる。

ちがい② カッタースの処理方法

ライザー掘削 船上から海底下に泥水をながして掘進によるカッタースは貴重な地質試料として泥水と一緒に船上に回収。泥水は調整して再利用する。

ライザーレス掘削 船上から海水を注入して掘りくずを押し出す。カッタースは回収しない。

ちがい③ 掘削に使うパイプ

ライザー掘削 泥水循環を行うためにドリルパイプとライザーパイプの二重構造。そのため、再度パイプを同じ孔に降下しやすい。

ライザーレス掘削 ドリルパイプのみで掘る。